

3キロ越えの梨でるか！？

第21回ジャンボ梨コンテスト



JAあいち豊田梨部会の栽培する豊田市特産「愛宕梨」の出荷が始まります。毎年大きな反響を呼んでいる「ジャンボ梨コンテスト」を11月9日（火）、豊田市公設地方卸売市場で開催します。当日の表彰式には豊田市太田稔彦市長と同JA石川尚人代表理事組合長も参加する予定です。

これは、日ごろ高品質な梨作りを目指している部会員が、愛宕梨の重量を競うことで生産技術の向上を図ると共に、来季に向け一層生産意欲を向上させることが目的です。最近では核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの愛宕梨を中心に生産していますが、部会員はコンテストの優勝に向け通常の出荷基準に比べ、より大きな愛宕梨を生産しようと、春先からの農作業に力をいれています。



▲昨年は2.968kg、

なお、コンテスト優勝の梨のセリについては同市場と調整中です。

胴回り58.5センチの梨が優勝

取材日時 令和3年11月9日（火） 午前6時～
午前6時～ ジャンボ梨コンテスト
午前6時30分～ コンテスト表彰式
午前6時50分～ 競り ※調整中

場 所 豊田市公設地方卸売市場（豊田市高崎町兼近70）

審査：梨の重量で順位を決めます。同じ場合は胴回りのサイズが大きいもの。

各賞：愛知県知事賞、豊田市長賞、JAあいち豊田組合長賞、愛知県果樹振興会長賞

JAあいち経済連会長賞、JAあいち豊田梨部会長賞

※コロナ感染拡大予防対策として、当日受付にて「貴名受け」「受付名簿」への署名お願いいたします。

《令和3年 JAあいち豊田梨部会の概要》

- ・部会長：川上義喜<かわかみよしき> ・栽培農家（部会員）：豊田市猿投・上郷地区の43人
- ・栽培面積：27ヘクタール ・出荷量：今年は全品種で約400トン予定
- ・栽培品種：愛甘水・幸水・あきづき・愛宕など8品種

《愛宕梨について》

愛宕梨は果肉が柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。サイズは通常でも約1キログラムもあります。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品としても人気です。同部会では26人の農家が2.765ヘクタールで栽培し、今年は36トンの出荷を見込んでいます（昨年は38.68トン）。出荷は11月上旬から12月上旬まで。JA選果場直売所などで購入できます。

お問い合わせ先：JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場

住所：豊田市四郷町森前187番地 担当：岡本・中野

TEL (0565) 46-2217 FAX (0565) 43-2031